

双日プラネットと ANA グループが航空貨物用プラスチックフィルムのリサイクルにおける資源循環型スキームを構築

- 日本の航空会社として初めて国内空港で使用する航空貨物用プラスチックフィルム等をリサイクルする資源循環型スキームを双日プラネットと共同で立ち上げました。
- 航空貨物用プラスチックフィルム等をリサイクルし、ANA で使用するプラスチック製品に再生することで、資源類の廃棄量削減に向けた取り組みを推進します。



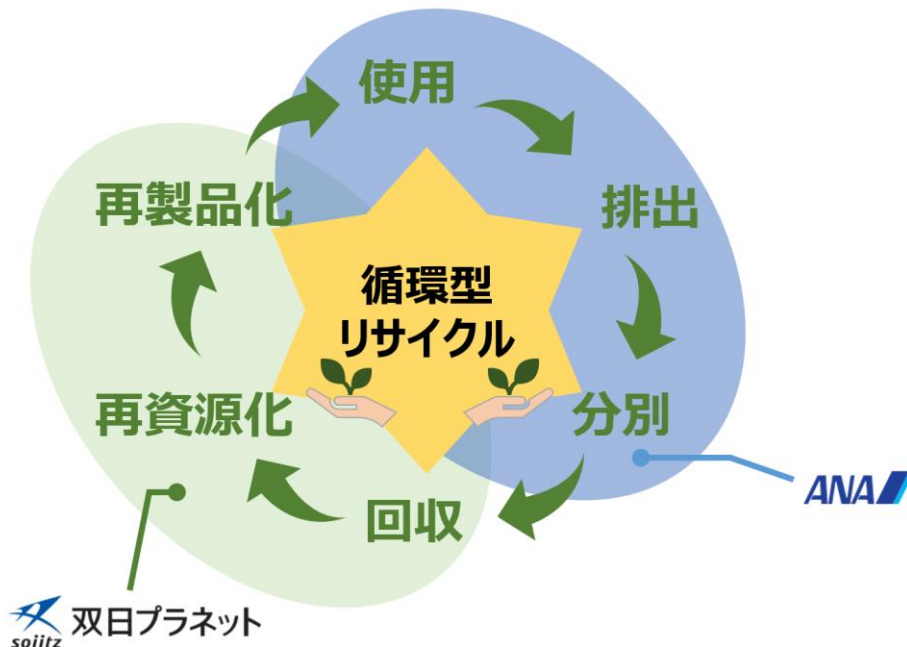
双日グループの合成樹脂商社である双日プラネット株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:有賀謙一、以下「双日プラネット」と ANA ホールディングス株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:芝田 浩二、以下「ANA HD」)は、使用済みの航空貨物用プラスチックフィルム等を回収し、ANA で使用するプラスチック製品に再生することで、プラスチックを廃棄しない循環型スキームを共同で立ち上げました。日本の航空会社として初の取り組みです。

ANA グループは中長期環境目標において資源類の廃棄率を 2030 年度までに 2019 年度比で 70%以上削減、2050 年度までにゼロにすることを目指しています。

双日プラネットは ANA HD との本取り組みを始め、航空業界のみにとどまらずその他の産業においても、本年 4 月施行のプラスチック資源循環促進法(プラ新法)を考慮した使用済プラスチックの国内資源循環スキームを構築し、環境負荷低減に貢献することを目指しています。

【スキームの概要】

1. 日本国内の空港にて使用済みの航空貨物用プラスチックフィルム等を ANA にて回収
2. 回収したプラスチックフィルム等に付着したラベルやテープ類等付着物を除去し、圧縮
3. 双日プラネットにて圧縮されたプラスチックフィルムを回収し、ペレットに再生
4. ペレットを ANA で使用するプラスチック用品製造メーカーに納入
5. 再生品を ANA にて再利用



昨今、回収されたりサイクル素材活用の情報開示等、従来以上に厳格な環境対応を求める動きが世界各国で活発化しています。双日プラネットと ANA HD は今後もプラスチックをはじめとした資源類の廃棄量削減に向けた取り組みを推進し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

以上



報道機関からのお問い合わせ先：

双日プラネット株式会社 環境サステナブル事業室 03-6871-5619

ANA ホールディングス株式会社 広報・コーポレートブランド推進部 03-6735-1111